

*** アーカイブ室新聞第22号、第350号への情報が寄せられる**

アーカイブ室新聞第22号(2008年6月13日)に「先の記念写真は寺尾寿教授在職満25年祝賀会とわかる」という記事を書いた。またアーカイブ室新聞350号(2010年6月14日)に「初代東京天文台長寺尾寿の新たな写真発見」という記事を書いた。この二つの記事について情報が寄せられた。情報をお寄せいただいたのは元九州大学教授の藤野清次氏である。アーカイブ新聞第22号には1909年明治42年に催された東京天文台初代台長寺尾寿の東京大学教授在職満25年祝賀会の記念写真(写真1)を掲載し、その写真に添付さ



写真1 1909年6月の寺尾寿東京大学教授在職満25年祝賀会記念写真

れていたリストをもとに参列者を考察したものであった。その中のNo. 136の人物を窪田賢次としていたが、藤野氏からこの人物は鶴野賢次氏ではないかと指摘があった。窪田賢次で調べたが情報が得られないでいた。藤野氏からの指摘で鶴野賢次で検索すると、「**鶴田賢次** つるた-けんじ: 1868-1918 明治-大正時代の物理学者。慶応4年2月生まれ。明治32年ドイツ、オランダに留学、帰国後東京帝大教授となる。熱力学と電気を研究し、三角型体温計をつくった。文章にもすぐれ、尾崎紅葉、川上眉山と交遊があった。大正7年6月10日死去。51歳。帝国大学卒。」とあり、まさしく寺尾寿と同時期の東京帝国大学教授であり、手書きのリストの読みにくい字で判読に困ったことから、藤野氏の指摘が正しいと思う。

また、No. 144 の人物はリストに名前がなく、筆者の調査では人物を特定できなかったが、藤野氏は寺田寅彦ではないかという。そこで寺田寅彦の画像を検索すると、ほぼこの人物は寺田寅彦であろうと思われる。

この No136, No. 144 の人物の部分のアーカイブ新聞第 22 号の記事は写真 2 である。



写真 2 No.105 から No.153 の部分



写真 3



写真 4

写真4が、写真2のNo. 144の人物の拡大写真、写真4がwebで入手した寺田寅彦の写真である。髪型が一致しない点はあるがほぼ同一人物としてよかろうと思う。

次に、アーカイブ室新聞第350号に掲載した寺尾寿のご息女敦子さんの結婚の記念写真が写真5である。



写真5 寺尾寿の娘 敦子の結婚写真

前列右より、新郎：森安三郎、寺尾寿の母：寺尾愛子、寺尾寿夫人：寺尾駒子、新婦：敦子、後列右より、元内閣総理大臣（当時は新郎先輩）：広田弘毅、新郎の先輩：山座円次郎、新婦の父：寺尾寿、新婦の叔父：寺尾亨、新婦の兄：寺尾新

この写真について、藤野氏は、この写真に写っている方々と学校が同窓で、福岡県立修猷館出身の外交官の先輩方がたくさん写っていると、廣田首相は明治31年卒、山座円次郎（藩校修猷館卒）、森安三郎は明治32年卒、寺尾寿（藩校修猷館卒）という情報を寄せていただいた。

これらアーカイブ新聞の記事にお気づきのことがあれば、編集者中桐にご連絡いただければ幸いです。中桐のメールアドレスは、arcnaoj@pub.mtk.nao.ac.jp